

豪雨時の対応を確認しよう

Confirming What to Do in Torrential Rains



豪雨が予想されるときは、天気予報や注意報、警報に注意しよう。避難は、危険度が高まる前の段階で開始することが重要。特に高齢者、障がいのある人、妊婦、乳幼児など、避難が容易にできない人は、市町村から「避難準備・高齢者等避難開始」が発表された時に、避難を開始する。日頃から自分の避難行動をイメージして「マイ・タイムライン」を作っておこう。

「マイ・タイムライン」をつくってみよう!

備えまでの時間	行動目安	行政から発信される情報 ○:気象・水象情報 →:河川管理者	「台風が発生」してから 「川の水が氾濫」するまで	備えの例
3日前	雨風が強くなる前に 行うべき事項をすませておく時期	○台風予報 ○台風に関する都道府県の気象情報(随時)	・台風が発生 天気予報で台風ができて言ってるよ。まだ雨や風は強くないね。	・台風の今後を調べ始める ・1週間分の薬を病院に受け取りに行く ・家の周りに風で飛ばされるようなものはないか確認
2日前		○大雨注意報・洪水注意報 ○台風に関する今後の見通し	・台風が近づいて、雨や風がだんだん強くなる	・テレビ、インターネット、携帯メールなどで雨や川の様子に注意 ・避難する時に持って行くものを準備する ・家族と連絡を取りあう
1日前		○大雨警報・洪水警報(上流域での大雨特別警報)	雨や風が強くなると、お出かけは大変だね。	・住んでいるところと上流の雨量を調べ始める ・携帯電話の充電 ・ハザードマップで避難場所、避難手段を再確認 ・川の水位を調べ始める ・通行止め情報がないか、インターネットで確認 ・携帯メールなどで避難準備情報の受信
半日前	水位等の状況を把握しつつ避難に要する時間に 応じて避難行動を開始する時期	水防団待機水位到達 氾濫注意水位到達	・雨が集まって、川の水がだんだん増える 自分がいるところで降ってなくても、上流で雨が降れば川の水は増えてくるよ。 ・激しい雨で、川の水がどんどん増えて、河川敷にも水が流れる このまま増えると、川の水があふれるかも。	・避難しやすい服装に着替える
5時間前		避難判断水位到達 →氾濫警戒情報 発表	・川の水がいっぱいであふれそう! もうぎりぎり。川の水があふれる前に、安全なところへ逃げなきゃ!	・携帯メールなどで避難勧告、避難指示を受信 ・安全なところへ移動を始める
3時間前		氾濫危険水位到達 →氾濫危険情報 発表 →緊急速報メール 河川氾濫のおそれがある情報	・川の水位が急激に上がる	安全な避難場所ってどこ? ・近くの避難所? ・となり町の避難所? ・親戚の家? …考えてみよう
0時間	身の安全を確保すべき時期	氾濫が発生 →氾濫発生情報 →緊急速報メール 氾濫が発生した情報	・川の水が氾濫 川の水が一気に広がって、街中が水びたし。こうなると動けないぞ!	

気象庁が発表する大雨注意報などの発表時間は、イメージで記載しています。避難勧告等のタイミングは市区町村によって異なります。市区町村のタイムラインを確認して下さい。